



令和7年10月8日発行

校長 鈴木 和彦

横尾中学校 学校だより

校訓「自立」＜学校スローガン:「Challenge」～I can do it.～＞

【長崎市中総体駅伝競走大会おつかれさまでした】

10月2日(木) かきどまり陸上競技場及び周辺コースで駅伝競走大会が行われました。今年は女子もチームとして出場しました。15名の生徒たちは自ら駅伝に出場したいと名乗り出て、猛暑の夏休みから一生懸命練習していました。

男子チームは26位、女子チームは16位という結果でした。

男子走者

女子走者

1区	井川	陽輝	(3年)
2区	向井	陽斗	(2年)
3区	佐藤	吏貢	(1年)
4区	月川	優斗	(3年)
5区	長田	琉生	(2年)
6区	木村	琉翔	(2年)

1区	吉田	芽柚	(3年)
2区	服部	くるみ	(2年)
3区	平山	悠花	(2年)
4区	野口	なのは	(1年)
5区	平山	美桜	(1年)

久米 悠翔(3年) 駕渕 瑠偉(2年) 筒口 陸翔(2年) 田崎 陽大(1年)

各選手の感想を紹介します。(順不同)

◎これまでの練習について

- 井川 全員そろっての練習ができない中で、みんな練習に来た日は一生懸命練習しました。
- 月川 毎日練習していくうちにきついけど、他のメンバーと話すことで楽しいと感じられるようになりました。
- 佐藤 最初の頃はきついなど思っていたけれど、仲間と一緒に練習していくにつれて、本番頑張ろうと思えるようになりました。
- 田崎 当日は走れなかったけどコツが分かった。(一定のスピード、距離をとる)
- 久米 今年は足の怪我と付き合いながらの練習となったが、仲間とともに日々汗を流して練習したことは良い経験となり、仲間との絆も、より深まったと感じた。
- 筒口 とてもきつかったです。
- 長田 みんなで声をかけあいながら走ることができました。仲間っていいなと思った。
- 木村 たくさん練習してきたけど、ペース走が一番きつかった。そのおかげで自分の走りを見つけることができて良かったです。
- 向井 金曜日だけの練習だったけど去年の自分のタイムを超えられて良かった。
- 駕渕 僕はずっと短距離の練習をしていたけど、近くでずっとサポートしてきました。
- 平山悠花 部活動がある日も頑張って練習に参加しました。
- 服部 諦めずに頑張った。少しでもタイムを縮められるように走った。
- 吉田 練習もあまり休まず練習することができました。
- 平山美桜 練習はきつかったけれど、一緒に練習をしてきた仲間が優しくて、おもしろかったから、楽しく練習に取り組むことができて良かった。
- 野口 きつい練習ばかりだったけど、仲間がいたから笑えたし、頑張れました。とても楽しかったです。

◎駅伝当日について

- 井川 まず、思うように走れない時期が続く中で、1区を任せていただいてとても感謝しています。メンバーのみんなや先生には、1区なのに流れをつかめなかったので「ごめんなさい」と一言言いたいなと思います。そして、一緒に走ってくれた仲間には、もう感謝しかないです。1, 2年生には頑張ってもらいたいです。
- 月川 走る直前まで緊張で身震いしていたけど、これまで練習してきたことや応援を思い出して走りきることができました。
- 佐藤 当日、とても緊張したけれど、練習の時よりも少しタイムが速くなってうれしかったです。来年出れたら今年よりも速く走れるようになりたいです。
- 田崎 駅伝の練習をとおして、今後の目標を宣言します。200m30秒で走ることと次こそは駅伝に出場します！！
- 久米 走れなかった悔しさを感じながらもカメラをとおして選手たちの真剣な姿と全力の走りに大きな感動と元気をもらい、選手たちのサポートを経験し、これからの人生においても良い経験となりました。
- 筒口 サポートできつかったです。
- 長田 走れない人の分まで全力を尽くして走りきり、笑顔で終われて良かった。
- 木村 今年走れてうれしかったです。みんなの気持ちをたすきでつないで心をついにできて良かったです。自己ベストを出せたので来年も走りたいので頑張ります。
- 向井 とても緊張したけど、井川君の笑顔で緊張がなくなって走れない仲間の分まで走りきれて良かったです。来年、リベンジします！
- 鴛渕 みんなのサポートをちゃんとできたし、いろいろ手伝うことができたので良かったです。
- 平山悠花 当日はとても緊張したけど、最後まであきらめずに走ることができました。
- 服部 今まで練習してきた成果を思う存分発揮することができたので良かったです。そして、自己ベストを出せたし、良い結果を出すことができたのでうれしかったです。来年も頑張りたい。
- 吉田 本番では自己ベストを出すことができなくて悔しかったけど、チームのみんなと走れて良かったし、今年は結果を残せて良かった。来年は今年の記録を抜けるように頑張ってもらいたいです。
- 平山美桜 当日はとても緊張して自分ではアンカーを務めることはできないのではとずっともやもやしていたけれど、なのはさんからのタスキを受け取った時に頑張ろうと思うことができて、自己ベストもできてとてもうれしかったです。来年もチャレンジしたいです。
- 野口 緊張して走りたくないなって、ずっと思っていたけど、今までの練習の日々を思い出して頑張れました。いろいろな人たちが応援してくれたから、きつい時でも頑張れました。サポートしてくださった先生方には感謝しかないです。来年も頑張ります。